

第2期氷見市まち・ひと・しごと創生総合戦略改訂案新旧対照表

資料2

該当P	改訂後	現行
26P (本文)	<p>1 基本的な考え方                      (1) 位置づけ                      ～略～                      (2) 地方創生に向けた基本的な考え方                      ～略～                      (3) <u>新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえた取り組み</u>                      2019年12月以降、世界各地において人から人への感染が確認された新型コロナウイルスの感染症の拡大により、氷見市においても地域経済は大きな打撃を受け、産業の基盤そのものが脅かされていることに加え、感染症拡大防止のため企業活動やイベントの自粛や縮小等により、地域内外の人の交流機会が減少し、観光客などの交流人口も大きく落ち込んでいます。                      一方で、感染症を契機に東京圏などの都市部への人口集中のリスクが改めて浮き彫りとなり、地方への移住や就業への関心が高まっています。この機運を地方への大きなひと・しごとの流れにつなげていくためには、デジタル化の推進など新たな日常生活への対応を進めつつ、恵まれた自然環境や人々の絆の強さなどの地域の魅力を高め、人を引き付ける地域づくりに引き続き取り組み、その魅力をしっかりと発信していくことが重要となります。</p>	<p>1 基本的な考え方                      (1) 位置づけ                      ～略～                      (2) 地方創生に向けた基本的な考え方                      ～略～</p>
27P (本文)	<p>(4) 第2期総合戦略の推進のためのポイント                      ～略～                      地域再生推進法人                      ・地域再生に取り組むNPO法人や株式会社を地方公共団体の補完的な立場で地域再生を行う地域再生推進法人として指定</p>	<p>(3) 第2期総合戦略の推進のためのポイント                      ～略～</p>
31P (基本戦略Ⅰ 住みたい街)	<p>iii ふるさと氷見への郷土愛の育成  <b>【具体的な取組】</b>                      ・幼児期から高校生のふるさと教育の推進や拠点の整備</p>	<p>iii ふるさと氷見への郷土愛の育成  <b>【具体的な取組】</b>                      ・幼児期から高校生のふるさと教育の推進</p>

<p>32P (基本戦略Ⅱ 働きたい街)</p>	<p>基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（Ⅰ）ターン）と多様な交流の実現 iii 多様な関係人口の創出・拡大 氷見の里山、里海にある地域資源の活用や地域が抱える様々な課題解決のため、氷見に縁のある都市住民、企業、大学及び学生との連携を図るとともに、氷見を応援する方が加入する「氷見きときとファンクラブ」からの本市の魅力溢れる情報発信等により、関係人口の創出・拡大につなげます。 【重要業績評価指標】氷見きときとファンクラブ会員数 【具体的な取組】 ～略～ ・「氷見きときとファンクラブ」の充実・拡大</p>	<p>基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（Ⅰ）ターン）と多様な交流の実現 iii 多様な関係人口の創出・拡大 氷見の里山、里海にある地域資源の活用や地域が抱える様々な課題解決のため、氷見に縁のある都市住民、企業、大学及び学生との連携を図るとともに、ふるさと納税の寄附者をはじめ、氷見市と関わりのある方々に、氷見の応援団になってもらうため「氷見きときとファンクラブ（仮称）」を開設し、関係人口の創出・拡大につなげます。 【重要業績評価指標】氷見きときとファンクラブ（仮称）会員数 【具体的な取組】 ～略～ ・「氷見きときとファンクラブ（仮称）」の開設</p>
<p>34P (基本戦略Ⅰ 住みたい街)</p>	<p>基本目標3 安全で安心して暮らせる基盤の充実 ii 地域医療の充実 市民が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるようにするため、中核病院である金沢医科大学氷見市民病院と市内の医療機関の連携が必要不可欠であることから、現在の医療機関数を維持し、医師や看護師の確保に努めることで、医療機関の連携を強化し、地域医療の充実を図るとともに、感染症拡大に伴う医療現場の負担の軽減に努めます。</p>	<p>基本目標3 安全で安心して暮らせる基盤の充実 ii 地域医療の充実 市民が住み慣れた地域で自立した日常生活を営むことができるようにするため、中核病院である金沢医科大学氷見市民病院と市内の医療機関の連携が必要不可欠であることから、現在の医療機関数を維持し、医師や看護師の確保に努めることで、医療機関の連携を強化し、地域医療の充実を図ります。</p>
<p>36P (基本戦略Ⅰ 住みたい街)</p>	<p>基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（Ⅰ）ターン）と多様な交流の実現 iii 交通弱者の移動手段の確保 【具体的な取組】 ～略～ ・JR城端線・氷見線のLRT化、直通化の検討</p>	<p>基本目標2 「里山、里海での生活が同時にかなうまち氷見」への移住・定住（Ⅰ）ターン）と多様な交流の実現 iii 交通弱者の移動手段の確保 【具体的な取組】 ～略～</p>
<p>37P (基本戦略Ⅰ 住みたい街)</p>	<p>基本目標4 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立 iv Society 5.0の実現に向けた技術の活用 【具体的な取組】 ～略～ ・DX（デジタルトランスフォーメーション）による利便性の向上</p>	<p>基本目標4 持続可能な地域社会の体制・仕組みの確立 iv Society 5.0の実現に向けた技術の活用 【具体的な取組】 ～略～</p>

<p>37P (基本戦略Ⅰ 住みたい街)</p>	<p>基本目標5 いきいきと暮らし続けるための健康的自立 i 市民の健康意識の醸成(「自分の健康は自分自身でつくり、育てる」) 市民一人ひとりが、主体的に生活習慣病の予防に向けた健康づくりに取り組めるよう健康意識の醸成を図り、健康診査の受診を推進します。<u>また、新しい生活様式への対応を呼びかけ、感染症の拡大防止に努めます。</u></p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・新しい生活様式の実践と徹底、感染リスクが高い状況の回避呼びかけ</p>	<p>基本目標5 いきいきと暮らし続けるための健康的自立 i 市民の健康意識の醸成(「自分の健康は自分自身でつくり、育てる」) 市民一人ひとりが、主体的に生活習慣病の予防に向けた健康づくりに取り組めるよう健康意識の醸成を図り、健康診査の受診を推進します。</p> <p>【具体的な取組】 ～略～</p>
<p>41P (基本戦略Ⅱ 働きたい街)</p>	<p>基本目標2 氷見ならではの魅力・強みを生かした観光振興 i 地域資源を生かした滞在型観光の推進</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・世界農業遺産への登録と活用</p>	<p>基本目標5 企業誘致の推進 i 地域資源を生かした滞在型観光の推進</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・世界農業遺産への登録</p>
<p>45P (基本戦略Ⅱ 働きたい街)</p>	<p>基本目標5 企業誘致の推進 i 地元雇用に結びつく優良企業や研究機関等の誘致</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・サテライトオフィス開設やテレワーク体制整備の支援</p>	<p>基本目標5 企業誘致の推進 i 地元雇用に結びつく優良企業や研究機関等の誘致</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・サテライトオフィスの整備と活用の促進</p>
<p>51P (基本戦略Ⅲ 育てたい街)</p>	<p>基本目標5 仕事と家庭を両立しながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現 ii 職場と子育て支援施設の連携</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・男性の家事・育児の参加の促進、育児休業の取得の促進</p>	<p>基本目標5 仕事と家庭を両立しながら、子育てを楽しみと感じられる社会の実現 ii 職場と子育て支援施設の連携</p> <p>【具体的な取組】 ～略～ ・父親の家事・育児の参加の促進、育児休業の取得の促進</p>